

重要 必ずご確認ください

令和7年度 福井県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ・更新研修課程Ⅱ
【事例提出について】

(1) 事例提出の目的

- 課程Ⅱは事例を用いた演習中心の研修です。
受講者が事例を持ち寄り、事例研究をしていきます。(事例検討ではありません)
実際に起こった出来事を手がかりに詳細(今回であれば適切なケアマネジメント手法に基づき)を追
究していきます。
- 事例研究は、「個々の事例から自己の実践を振り返り、類似した事例や状況に対応する力」や、
「個別の課題をもとに地域の課題を抽出し解決に向けた取組につなげる力」の習得を主な目的とし
ます。事例の研究を通して、普遍的な問題や解決の方法を見出す手段にもなります。
- 対象事例を丁寧に振り返ることによって、一つひとつの事例を掘り下げることや課題の実現を妨げ
ている要因・原因を明らかにする(事例検討)が目的ではありません。
- 事例はテーマに沿う部分のポイントを押さえて簡潔に記載してください。(そのことにより、研修当日
の報告もスムーズになります。)
- **事例は、自分の実践を振り返り「課題が残った事例」や「うまくいった事例」等から選んでください。**

(2) 事例提出の方法

- 受講決定後、以下の7類型(テーマ)の事例を「事例概要」(様式①)に記入し、併せて事例説明時
の手元資料として資料②～⑨を適宜ご準備ください。
- ※7類型(テーマ)の事例

	科 目	キーワード
1	脳血管疾患のある方の ケアマネジメント	血圧や疾病の管理の支援、服薬管理の支援、生活習慣の改 善、心身機能の回復・維持、心理的回復の支援、活動と参加 に関わる能力の維持・改善、リスク管理、血圧や疾病の自己管 理の支援、服薬の自己管理、生活習慣の維持など
2	認知症のある方及び家族等を支える ケアマネジメント	初期診断に関する対応、地域ネットワーク構築、認知症の理 解、環境変化における対応、行動障害の取組、認知症治療に 関する事、精神疾患における医学的・心理的な状況 など
3	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	転倒予防、骨粗しょう症の予防、歩行の獲得、生活機能の回 復、社会参加の回復、介護給付サービスの終結に向けた理解 の促進(自助・互助への移行) など
4	心疾患のある方のケアマネジメント	疾患の理解と確実な服薬、自己管理能力の向上とリスクの管 理、療養を続けるための環境・体制の整備、心疾患の状況に 応じた生活・暮らし方の支援、心理的な支援、ステージに応じた 生活・暮らし方の支援 など
5	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	誤嚥性肺炎の予防、不顕性誤嚥、誤嚥リスクの評価、かみ合 わせ、咀嚼、義歯、咳、呼吸、口腔ケア、摂食嚥下機能、口腔 乾燥、フレイル予防、地域連携パス(クリティカルパス)
6	看取り等における看護サービスの活用に関 する事例	痛みの改善の取組、生活機能低下における対応、死の受容に 関する事、緩和療法、葬儀に関する相談対応、遺品に関する 相談対応、生きがいの実現、看護サービス利用について など
7	家族への支援の視点や社会資源の活用に向 けた関係機関との連携が必要な事例の ケアマネジメント	家族等に対する支援の勝要性や支援における役割・留意事項 の理解、社会資源の活用に向けた関係機関との連携、他法他 制度の活用(難病・高齢者虐待・高齢障害者。経済的困窮に ある高齢者等) など

	資料名	様式等
提出物	事例概要	様式① 本会ホームページよりダウンロードしてください。
手元補助資料	②基本情報(フェイスシート) ③アセスメントシート ④サービス計画書(第1表) ⑤サービス計画書(第2表) ⑥週間サービス計画表(第3表)※24時間シートでも可 ⑦サービス担当者会議の要点 ⑧介護支援経過 ⑨その他事例の理解に必要な資料	事例研究に必要と思われるものを適宜ご準備ください。 所属事業所で使用しているもので結構です。

- 作成した7類型(テーマ)7枚の「事例概要」を、**事例提出締切日(各コース初日の3日前(土日祝は除く))までに事務局に Eメール**でご提出ください。
※提出がない場合は、受講決定後であっても研修を受講することができません。
※提出があっても、未記入項目や内容に不備等がある場合には再提出いただく場合があります。
- 事例をEメールで提出する際は、**必ず件名を「課程Ⅱ(受講番号)(氏名)事例提出」**としてください。
また、7事例を7ページからなる1つのWordファイル(PDFファイルも可)で送信してください。
- 事例入力の際は、**1事例が1ページに納まるよう、行間や文字の大きさを調整し、7ページのものを提出ください。**
- 事例作成に際しては、ご利用者の了承を得る等、所属事業所で定められた条件のもと、**個人情報**は**すべて消す等の処理**をお願いします。**事業所名も不要**です。

例) 福井市で生まれ鯖江市に… → A市で生まれB市に ○市・■市
ふくいデイサービスセンター → Cデイサービスセンター、×メデイサービスセンター

- 7類型の要素が複合的に含まれる事例であっても、**それぞれの類型で1枚ずつ「事例概要」**を作成してください。
※同事例でも類型が変われば記載内容(押さえるポイント)も変わるはずです。
- 受講者のご経験によっては提出が難しい類型があるかもしれませんが、必ずしもぴったり一致していなくても結構ですので、前ページのキーワード等を参考にして幅広くとらえていただき、ご提出をお願いします。

(3) 研修時の事例共有について

- オンライン研修時の事例発表については、各受講者がZoomの画面共有機能を使い、画面に事例を表示して行います。
メールで送信した「事例概要」のデータ(WordでもPDFでも可)は必ず保存しておいてください。
- 具体的な操作方法は、「Zoomの操作マニュアル」を送信します。
- 実際の操作については、動作確認日を設け、体験いただく予定です。

提出先(事務局)
福井県社会福祉協議会 福祉人材課
Eメール manp@f-shakyo.or.jp
TEL0776-21-2294 / FAX0776-24-4187

◆ 作成時の注意点 ◆

受講番号のみ記入し、氏名は記入しないように！！
※7枚全てに記載されているか確認してください。

様式①1枚について、1テーマで作成してください
1つの事例が、1枚に納まるように文字の大きさや行間を調整してください。

様式①

＜事例概要シート 発表時間 5～6 分＞

福井県介護支援

(受講番号

※受講番号以外の氏名等は記載しないこと

【テーマ名】 ※テーマ名を記入したシートがございます。

事例のタイトル 事例の具体的な内容や利用者の主訴 もしくは、事例をまとめていく過程で、あなた自身が持った思いや、新たに気づいたことなどをタイトルにしてもよい。
この事例を選んだ理由 特に困難性を感じた点や苦労した点、うまくいった点、修正が必要になったこと等踏まえて記入しましょう。
事例概要を簡潔に※今回のテーマに沿った内容をふくむこと （オンライン研修のため、個人情報that特定されるイニシャルは使用禁止（記入例：A市の長女、B県出身、C病院） このテーマに基づく利用者の状況の変化、また利用者を取り巻く家族や支援者の動きが分かるように記入しましょう。 上記事例提出の理由となったポイント等を押さえて記入しましょう。

◆適切なケアマネジメント項目一覧を見ながら実践を振り返る

出来ていた点(主なものを1点)	出来ていなかった点(主なものを1点)
項目一覧から想定される支援内容の一つを選択する 記載例: 1-1-1 基本的な疾患管理の支援 想定される支援内容(1 基本的な疾患管理の支援)	項目一覧から想定される支援内容の一つを選択する 記載例: 1-1-1 基本的な疾患管理の支援 想定される支援内容(1 基本的な疾患管理の支援)
適切なケアマネジメント手法の「基本ケア」「疾患別ケア」の項目表を見て、 大項目・中項目・小項目のどこに該当するか ケアマネジメントプロセスを振り返って記入してください	
その理由は？	その理由は？
相談や活用が出来た職種・地域資源	相談や連携が難しかった職種・地域資源
適切なケアマネジメント手法の「基本ケア」「疾患別ケア」の項目表の主な 連携先を参考にしたり、地域資源等も考えながら記入してください	
その理由は？	その理由は？
上記の「テーマ名」の事例を振り返って(簡潔に) ※事例全体の振り返りではありません。 このテーマ(疾患ケアもしくは基本ケア)に基づく振り返り、気づいたことなどを記入してください ※この事例全体ではなく、疾患ケア・基本ケアに関する振り返りを行ってください。	

1つの事例が、1枚に納まるように文字の大きさや行間を調整してください。